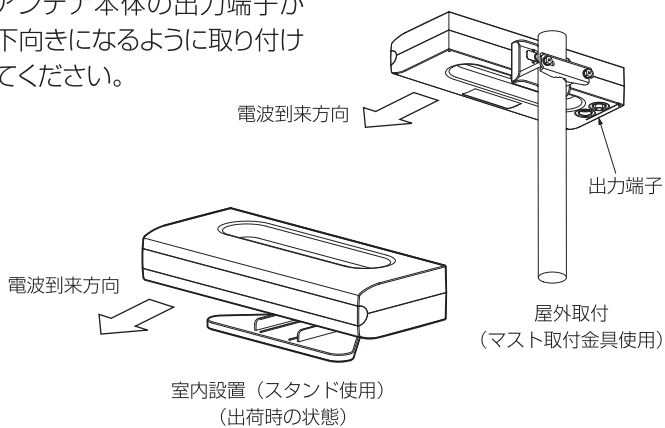


受信偏波とアンテナ取付方向

- 受信する電波の偏波面（水平または垂直）に合わせてアンテナの取付方向を下図のように変えてください。取り付ける場所の放送が水平偏波か垂直偏波かはお買上げの販売店にお問い合わせください。
出荷時は横置（スタンド使用、水平偏波受信）となっています。

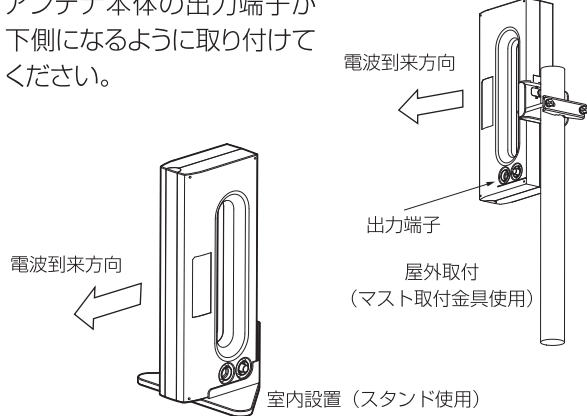
〈水平偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。



〈垂直偏波受信のとき〉

アンテナ本体の出力端子が下側になるように取り付けてください。



屋内設置

〈アンテナ部とスタンドの取り付け／取りはずし〉

横置き（水平偏波受信）の場合

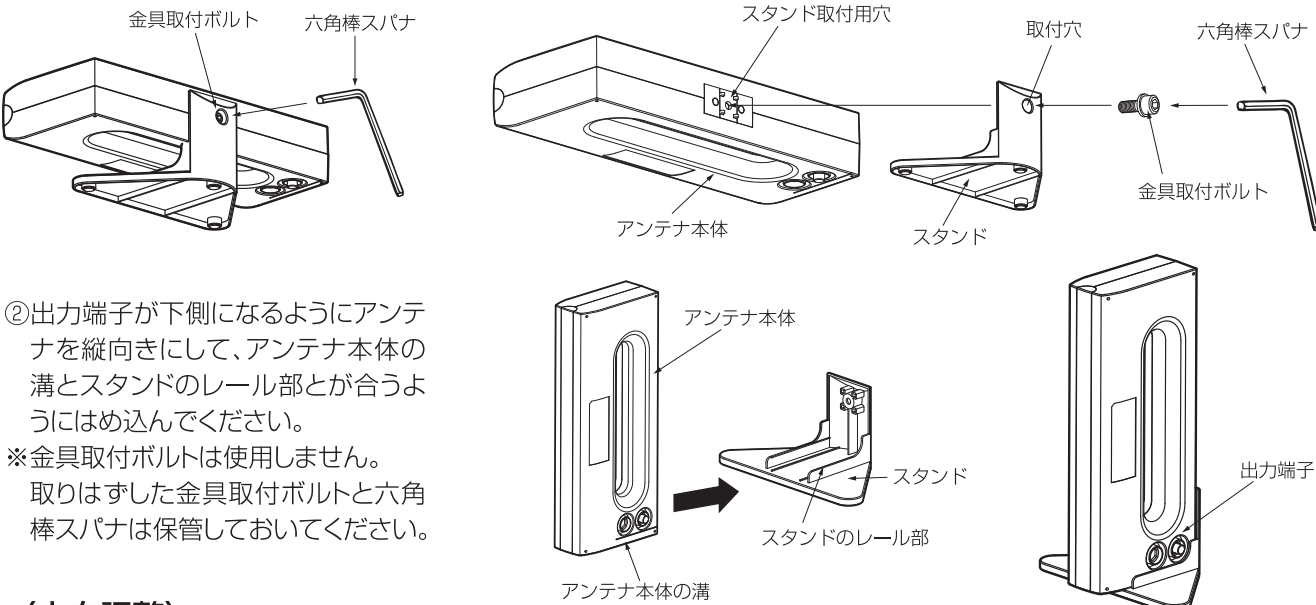
- 本体を箱から取り出し、そのまま同軸ケーブルでテレビと接続してご使用ください。

縦置き（垂直偏波受信）の場合

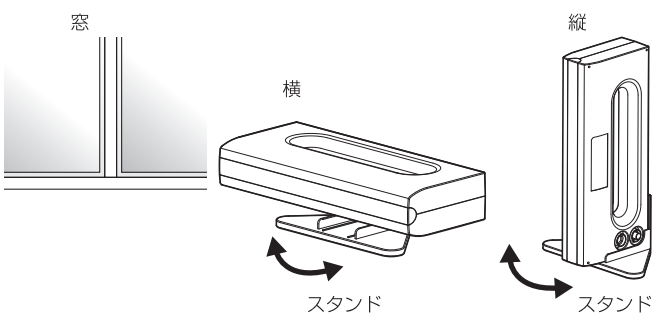
- ①出荷時は金具取付ボルトでアンテナ本体とスタンドを固定しています。縦置にする場合は付属の六角棒スパナで金具取付ボルトを回して、スタンドを取りはずしてください。

受信電波についてはwebサイトで確認することができます。

- 社団法人 デジタル放送推進協会 [Dpa] <http://www.dpa.or.jp/> 「地デジの放送エリアのめやす」をご覧ください。
 - 総務省 各地域の総合通信局のホームページをご覧ください。
- （ 弊社のホームページ <http://www.dxantenna.co.jp/> リンク集に「行政-各地方総合通信局」がございます。ご利用ください。 ）



〈方向調整〉



- 屋内で使用する場合は、スタンドを利用して良好な受信ができるようにアンテナの方向を調整します。詳しくは「使用例」をご覧ください。

ポイント

窓際などでアンテナの向きをいろいろえながら最も良く受信できるアンテナの向きを探してください。

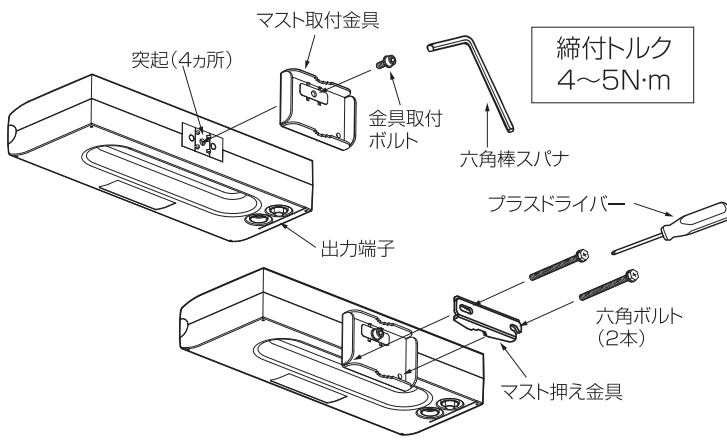
屋内に設置して良好な受信ができない場合は、ベランダなどの屋外に設置することをおすすめします。

屋外設置

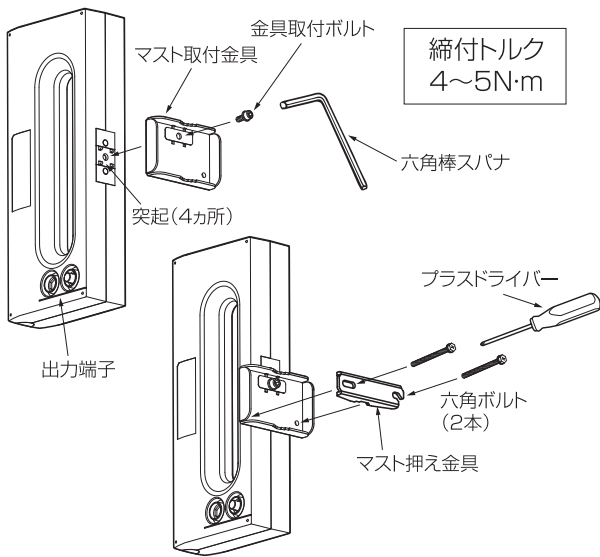
〈マスト取付金具の取り付け〉

- ①アンテナ本体からスタンドを取りはずします。（左ページの〈アンテナ部とスタンドの取り付け／取りはずし〉をご覧ください。）
- ②アンテナ背面の4つの突起部分にマスト取付金具をはめ込みます。このとき、受信する放送の偏波に合わせてアンテナ本体の向きを横向きか縦向きかを選びます。（放送が水平偏波か垂直偏波かはお買上げの販売店にお問い合わせください。）
- ③六角棒スパナを使用してアンテナ本体とマスト取付金具を金具取付ボルトで締め付け固定します。
- ④アンテナ本体の出力端子を下側にして、図のように六角ボルトをマスト押え金具の穴に通してマスト取付金具のボルト穴に取り付けます。

〈水平偏波受信の場合〉



〈垂直偏波受信の場合〉

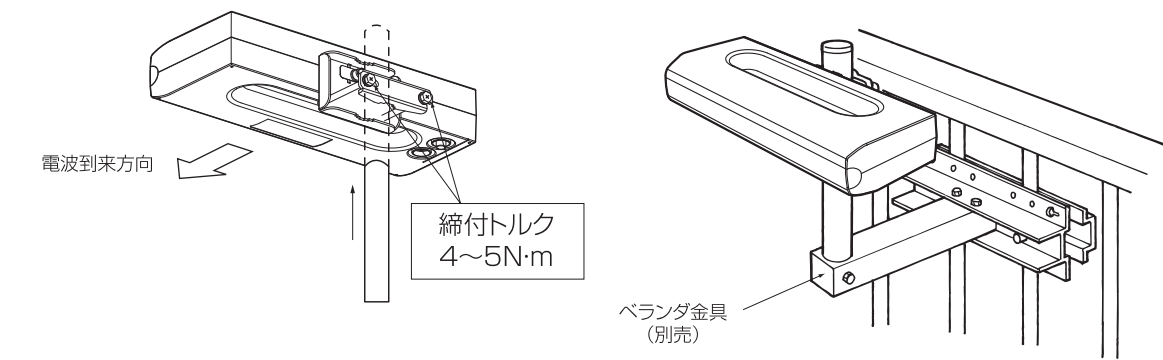


〈別売のベランダ金具を使用する場合〉

ベランダ金具（別売）をベランダや壁面に取り付けてください。

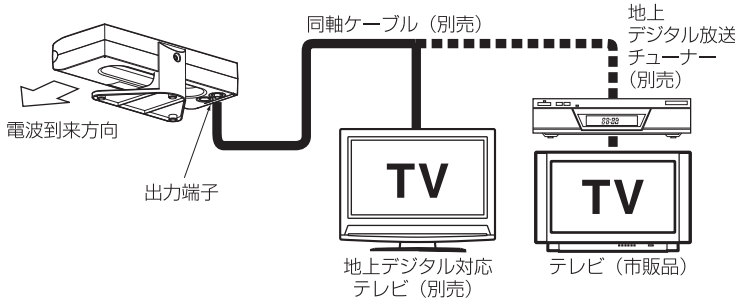
（取付方法はベランダ金具の取扱説明書をご覧ください）

ベランダに取り付ける場合は、マスト径がφ15～38mmのベランダ金具（別売）をご使用ください。



使用例

- ①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナー内蔵テレビまたは地デジチューナーのアンテナ入力端子を同軸ケーブルで接続してください。
- ②地上デジタル放送チューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナー内蔵テレビなどの取扱説明書をご覧ください。）

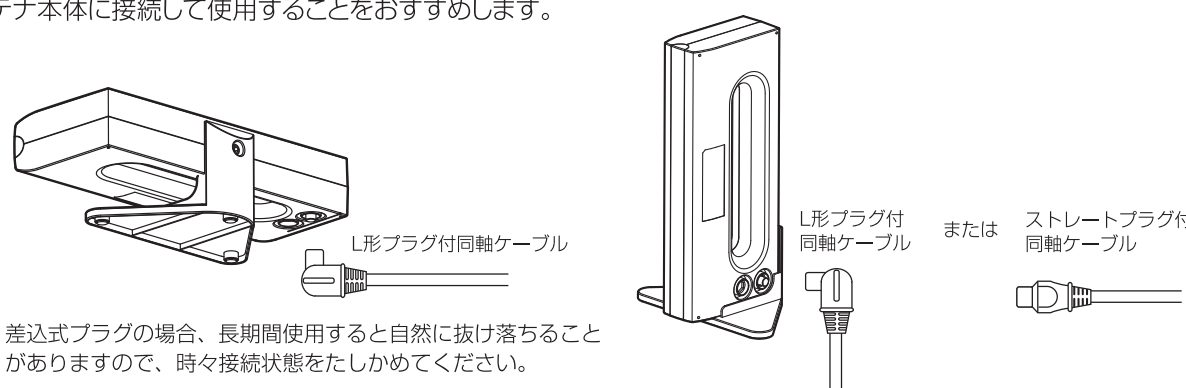


アンテナを左右に動かして受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。

本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

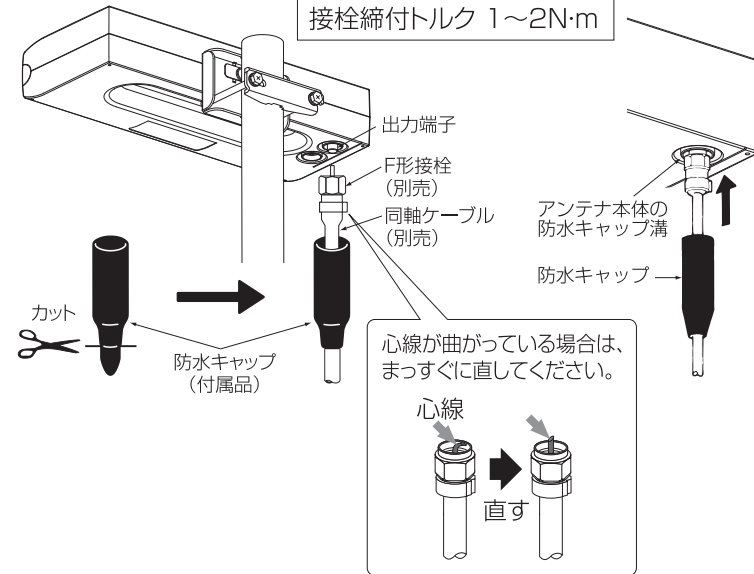
〈屋内で使用する場合〉

- 屋内で使用する場合は、図のように付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- 別売のF形接栓加工済の同軸ケーブル（2C相当の両側L形プラグまたは片側L形、片側ストレートプラグ）等のL形プラグ側をアンテナ本体に接続して使用することをおすすめします。



〈屋外で使用する場合〉

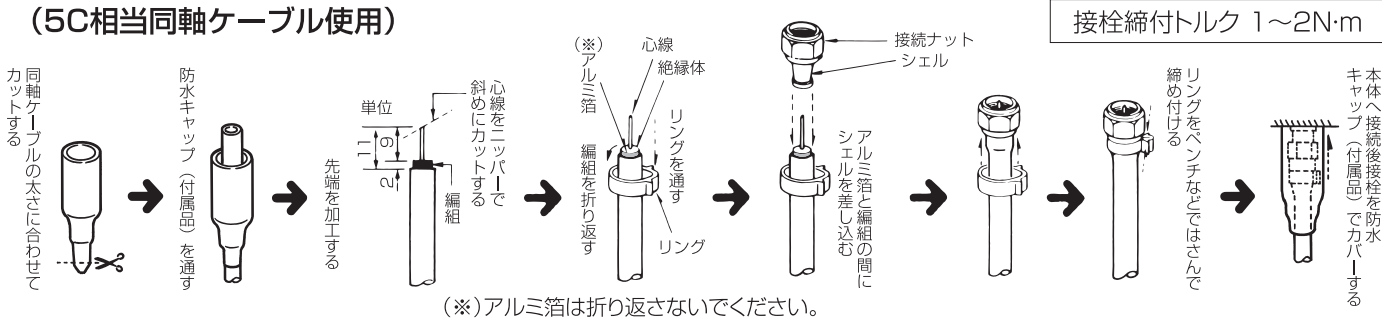
- 同軸ケーブル、接栓（いずれも別売）を使用し、図のように加工して接続するか、または接栓付同軸ケーブル（別売）をご使用ください。
※同軸ケーブルはできるだけ4Cまたは5Cケーブルのご使用をおすすめいたします。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。
- 付属の防水キャップの先端をケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブル（別売）に通しておいでください。
- 同軸ケーブル先端にF形接栓を取付けた後、アンテナ本体下側の出力端子にまっすぐ確実に接続してください。
- F形接栓をアンテナ本体に接続した後、防水キャップ（付属品）をアンテナ本体の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んで接栓部を雨水などからカバーしてください。



〈F-5接栓（別売）へのアンテナケーブルの接続方法〉

5C相当同軸ケーブルにF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。

（5C相当同軸ケーブル使用）



- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- この製品へのF形接栓の接続は、接続ナットを1～2N・mで締め付けてください。（2N・m以上では締め付けしないでください。）
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。